

# 政治の定義

政治とは？

= 社会集団における集合的意思決定

※基本的には国家の存在が前提

→「国家の直接関与しない政治」の例

- ・地方政治(市町村、都道府県、etc.)
- ・学内政治(大学、etc.)
- ・組合内政治(労働組合、etc.)

- |   |   |
|---|---|
| 1. この講義では「政治学」という学問に関する<br>初歩的な知識を皆さんに学んでもらいます。   | 1. In this lecture, you will learn the basic concepts<br>of Political Science.  |
| 2. 今日はまずその大前提として、「政治とは何<br>か？」という定義の話から始めましょう。  | 2. Today, as the very first step, I would like to start<br>by considering what “politics” is. So, what is the<br>definition of “politics”?  |
| 3. 「政治」とは一般には、何らかの社会集団に<br>おける集合的意思決定のことを指す言葉で<br>す。そして現代では、主に「国家」の存在を<br>前提とした枠組の中で用いられます。 | 3. The word “politics” generally refers to group<br>decision making in a given social group. In our<br>modern world, this term is used mainly in a<br>framework that assumes presence of a “state”. |
| 4. ただし、広義においては、国家の直接関与し<br>ない次元の意思決定でも、文脈によっては<br>「政治」と呼ばれることもあります。                         | 4. In a broader sense, however, there are<br>circumstances in which the word “politics” is<br>used to describe decision making not directly<br>relate to a state.                                   |

- |   |  |
|---|--|
| <p>5. <b>の例として</b>、たとえば、「<b>地方政治</b>」という言葉があります。日本の<b>都道府県</b>や<b>市町村</b>などの<b>地方自治体</b>における<b>集会的</b>意思決定は、<b>国家</b>とはまた異なる次元で展開されていますが、これらは「<b>地方政治</b>」と呼ばれています。</p> | <p>5. One such example is the term “local politics”. Group decisions in local governments in Japan at the levels of prefectures and municipalities take place quite apart from the state. Nevertheless, these constitute “local politics”.</p> |
| <p>6. また<b>大学内</b>ではしばしば「<b>学内政治</b>」という言葉も使われます。これは<b>学長選挙</b>や<b>学生自治</b>に関わる<b>問題</b>などのことを指す言葉です。</p>   | <p>6. We also hear the expression “campus politics” in universities and colleges. Here, “politics” refers to such issues as college presidential elections and student government.</p>   |
| <p>7. そして、<b>労働組合</b>などにおける<b>行動指針</b>を巡る様々な<b>議論</b>や、それに関わる<b>権力闘争</b>などのことを「<b>組合内政治</b>」と呼ぶこともあります。</p>   | <p>7. Yet another example is the term “union politics.” This is used in relation to debates about the principle of and the related power struggles in labor unions.</p>  |
| <p>8. しかし、<b>基本的</b>には現代で「<b>政治</b>」という言葉を用いる場合は、やはり「<b>国家</b>」の<b>枠組</b>が前提となっていることが多いです。</p>  | <p>8. But, basically, when we use the word “politics” in our modern world, we usually use this term in the framework of a “state”.</p>   |

## キーワード

- ・ **社会集団**      ・ **集会的**意思決定

## 日本語解説

### 文1 「N という N」

「N という N」という形で、＜内容＞を述べるのに用います。＜内容＞には

「**学問**」「**規則**」「**記事**」「**情報**」「**事件**」など**内容**のあるまとまりを表す名詞  
「**ことば**」「**話**」「**うわさ**」「**評判**」など**発言**に関わる名詞

などが用いられます。例えば、この講義では「「**政治**とは何か？」という**定義**」、「「『**地方政治**』という言葉」、「「『**独自の**正統性を持つ**統治機構**』が存在するか否か、という**問題**」のように使われています。できごとの**内容**を述べる場合は、「という」が**省略**されることもあります。

### 文2 「おける」

「～における N」、「～において～」には次の二つの意味があります。

1) 場所や時代を表す名詞について、ある出来事が起こったりしたときの背景を表します。「で」と同じ意味を表す多いですが、「で」よりも改まった感じになります。名詞の前に来るときには、「NにおけるN」という形になり、「N(で)のN」という意味になります。この講義では次のように使われています。

- ・特にヨーロッパにおけるEUの設立や、その中での通貨統合への動きなどは、まさにその典型例と言えるでしょう。  
＝ここでは「ヨーロッパ(で)のEUの設立」という意味になります。
- ・そして、この講義では現在および過去の各国における様々な政治システムについて論じていきたいと思います。  
＝ここでは「現在と過去の各国(で)の様々な政治システム」という意味になります。

2) 「それに関して」「その点で」という意味を表します。後ろにはその物事に対する評価や他のものと比較する表現が来ることが多いです。

- ・政治権力を巡る闘争の構造という点において、両者は根本的に異なる性質をそれぞれ有しているのです。

👉「講義に役立つ日本語」

### 文3「広義」

「広」という漢字の反対の意味を持つ漢字は「狭」です。この2字が対応する言葉に「複雑⇔狭義」があります。「広義」は一般的な幅広い意味を表し、「狭義」はもっと限定的な意味を表します。

### 文5「都道府県」

日本の行政単位は、「日本」という国家があり、その下に「都道府県」があります。「都」は東京1つ、「道」は北海道1つ、「府」は大阪府、京都府、その他に43の「県」があります。県の下の行政区分は、「市町村」ですが、名古屋市は「区」に分かれています。

## 「国内政治」と「国際政治」

	国内政治 (一国政治)	国際政治 (多国間政治)
主要なアクター (行動主体)	国民 (およびそれを主体とする 政党、利益団体、NGO)	国家 (+多国籍企業、国際NGO)

1. そして、現代において「政治」と呼ばれる領域は、基本的に「国内政治」と「国際政治」の二つの次元に分けることができます。
  2. 「国内政治」とは、すなわち「一国政治」であり、「国際政治」とは「多国間政治」と言い換えることができます。次は、この二つの違いについて確認していきましょう。
  3. まず、第一の相違点は、政治アクター、すなわちそれぞれの政治を構成する社会集団における主要な行動主体の違いです。
  4. 国内政治において主要なアクターとなるのは「国民」です。近年では、外国人参政権を認める国もありますが、基本的には国民、および国民を主体として結成された政党、
1. Now, there are two major areas of “politics” in our modern world. These are “national politics” and “international politics”.
  2. National politics is the “politics of one nation” and international politics can be called the “politics of multiple nations”. Let us consider the difference between these two types of politics.
  3. The first difference is in the political actors involved. In other words, the main actors different in terms of the social groups making up each of these politics.
  4. In national politics, the main actors are the people/citizens of that nation. Although in recent years some nations now recognize non-citizen suffrage, the main actors in



利益団体、NGO、といった様々な団体が国内政治における主な行動主体となります。

national politics are made up from political parties, interest groups, non-governmental organizations (NGOs), and citizen groups.

5. 一方、国際政治における主要なアクターは「国家」です。厳密に言えば、近年では国家に加えて、国家の枠を超えて活動する多国籍企業や、国際NGOといったアクターも存在しますが、基本的には、「各国の国民の意志の集合体」としての「国家」こそが、国際政治の次元における主要な行動主体となります。

5. On the other hand, the main actors in international politics are states. Strictly speaking, we must admit that there are other actors, in addition to states, such as transnational companies and international non-governmental organizations that work beyond the national boundaries. But, basically, the main actors of international politics are “states” as the decision-making collective entity of the citizens of each nation.

## キーワード

・国内政治 ・国際政治 ・政治アクター ・外国人参政権 ・政党 ・利益団体 ・NGO  
・多国籍企業 ・国際NGO

## 日本語解説

文1 「AとBの二つの次元に分けることができます」

「～はAとBの二つに分けることができます」というのは、分類、種類を表すときに使います。他にも次のような形が使われます。

- ～は AとB（の2つ）に分けられます・分類されます
- ～は AとB（の2つ）に分けられています・分類されています
- ～は 2つに分けられる。AとBの二種類です。
- （～では）～を AとB（の二種類）に分けています・区分しています・分類しています

講義では次のように使われています。

- ・国家の仕事は、「立法」、「行政」、そして「司法」の3つに分けることができます。
- ・そして、現代において「政治」と呼ばれる領域は、基本的に「国内政治」と「国際政治」の二つの次元に分けることができます。

文2 「次は、～について～していきましょう。」

「次は、この二つの違いについて確認していきましょう。」のように「～について～ていきましょう」という形で、これから確認したり説明したりする話題を紹介しします。講義の中では、話題が変わるときによく使われますので、この形が出てきたら、新しい話題が始まると考えて準備しましょう。

### 文3「すなわち」

「すなわち」は「つまり」と同じような意味で使います。「つまり」は話し言葉や書き言葉、どちらでも使えますし、説明をもっとしてほしいときに「つまり？」と聞き返すことができます。「すなわち」のほうが講義などあらたまった場面で使います。また、「すなわち？」と説明を求めることはできません。

☞「講義に役立つ日本語」

### 文4「様々な団体が主な行動主体となります。」

「AがBとなります」という形で、「AがBの役割だ」という意味を表します。

### 文5「一方」

「A。一方、B」という形で、対照的なAとB、二つのものを比べて紹介したり説明したりするときに使います。講義では次のように使われています。

- ・アメリカを初めとする大統領制の国々においては、「行政府」を担当する大統領と「立法府」を担当する議会は別々に選挙で選出されます。一方、日本やイギリスなどの議院内閣制の国々では、選挙で選出された「立法府」としての議会が、「行政府」としての首相を選出します。

=>ここでは「アメリカを初めとする大統領制の国々」と「日本やイギリスなどの議院内閣制の国々」を対比して紹介しています。

- ・たとえばイギリスの場合、上院に相当する貴族院は民主的な選挙で選ばれる議会ではないため、今では殆ど権力を持ちません。一方、アメリカのように条約締結は上院、予算承認は下院、という形で、明確に役割分担されている国もあります。

=>ここでは「イギリス」と「アメリカ」を対比して紹介しています。

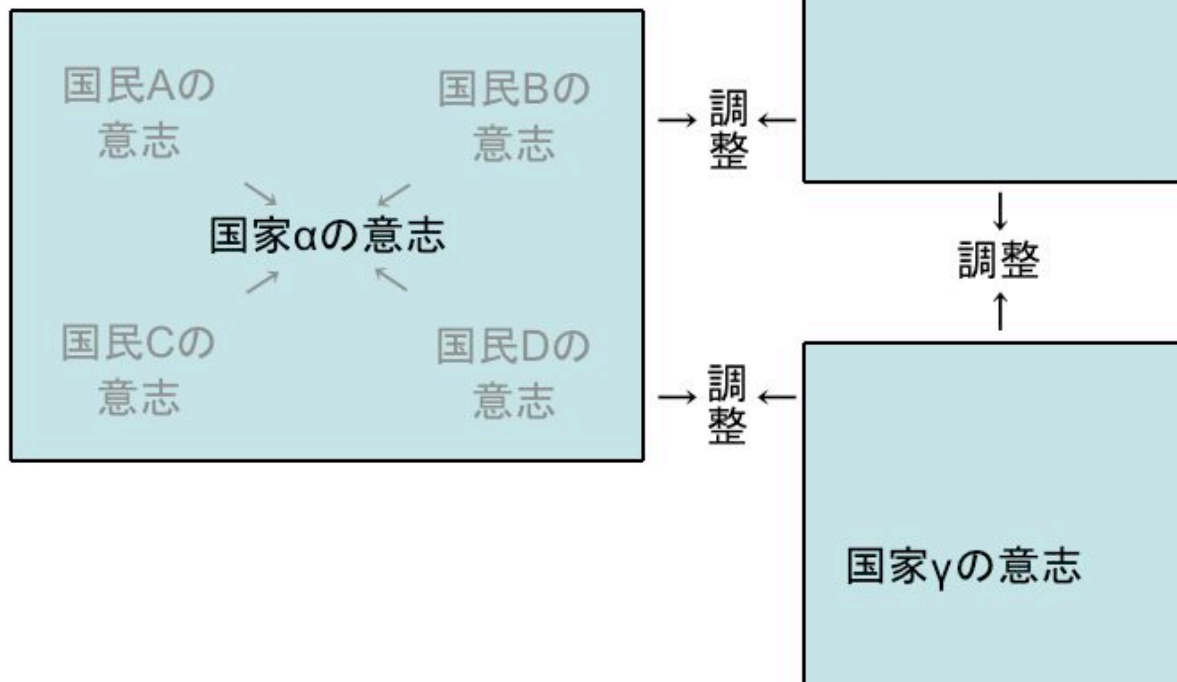
### 文5「こそ」

「こそ」は特に強く言いたいことを強調するときに使います。

例) 今年こそ試験に合格したい。

例) 私こそお礼を言わなければなりません。

# 国際政治の基本構造



1. これを<sup>す</sup>図にして<sup>あらわ</sup>表すとこのようになります。つまり、国内政治の次元では、国内に存在する多様な「国民の意志」同士の調整を通じて、最終的にそれらの集合体としての「国家の意志」を形成することが目的となる訳ですが、国際政治の次元では、そこで形成されたそれぞれの「国家の意志」同士の<sup>あいだ</sup>間でのこのような<sup>かたち</sup>形での意思調整が目的となっている訳です。
2. ちなみに、よくある<sup>まちが</sup>間違いとして「外国の政治」のことを<sup>すべ</sup>全て「国際政治」だと勘違いしている人がいますが、たとえ外国の話でも、それがその<sup>くに</sup>国の内政に関する話であれば、それは「国内政治」です。たとえばアメリカの大統領選挙は新聞などでは「国際面」
1. This can be expressed in a chart like this. Specifically, at the level of national politics, it tries to coordinate the various expressions of the “will of citizens” in order to ultimately form the “will of the nation”. On the other hand, the objective of international politics is to obtain a consensus among the will of various nations.
2. Incidentally, many people mistakenly regard all forms of “foreign politics” as “international politics”. But, even when it relates to foreign nations, if it relates to the domestic politics of that nation, it is still termed “national politics”. For example, the news media here in Japan

に掲載されていますが、政治学の定義として  
はあくまで「国内政治」の一事例にすぎませ  
ん。

3. この第一の相違点はいわば両者の定義その  
ものなのですが、この違いが両者の「政治」  
としてのメカニズムを語る上での根本的な  
次元での相違を生み出すことになります。

[[consider adding for improved clarity]] places  
news about the American presidential election  
in the international column. But, according to  
the definition of politics, this is still an  
example of national politics.

OK. So, this first difference was about the  
difference in definitions. But, this obvious  
difference leads to the fundamental difference  
in the mechanisms of the “politics” of these  
two.

## 日本語解説

### 文1「を通じて」

「～を通じて」は同じ漢字を使った「～を通して」と似た意味を表します。どちらも「～を経由して」という意味、「～を使って・～によって(手段)」を表します。何かを経由して情報を伝えたり関係ができたりするということを述べるときに使います。

- 例) 民主主義国では選挙を通じて、権力を奪います。  
＝ここでは、「選挙によって」という方法の意味を表します。
- 例) 「他国の政治システムとの比較」を通じて「既存の日本の常識」の相対化することが可能になります。

＝ここでは「他国の政治システムと比べるという手段を使って」という意味になります。

☞「講義に役立つ日本語」

### 文1「として」

「～としてのN」、「～として～」という形で、立場や役割、機能などを表わすときに使います。

例) 一方、日本やイギリスなどの議院内閣制の国々では、選挙で選出された「立法府」としての議会が、「行政府」としての首相を選出します。

＝ここでは「立法府」という役割、機能を持つ「議会」。「行政府」という役割、機能を持つ「首相」という意味を表します。

その他にもこの講義には、次のような使い方があります。

- 多くの国々の間の紳士協定として存在しているにすぎず、一定の抑止力としての効果はあるものの、国内法ほどの体系的な秩序を構築出来るだけの正統性も効力もありません。
- 国連の下部機関としての「国際司法裁判所」も存在します。

👉 「<sup>こうぎ</sup>講義に役立つ<sup>やくだつ</sup>日本語<sup>にほんご</sup>」

## 文2 「ちなみに」

いまはな 今話していることとは、<sup>ちやくせつかんけい</sup>直接関係がない、<sup>すこ</sup>少し違うことを<sup>くわ</sup>つけ加えるときに使う<sup>つか</sup>言葉<sup>ことば</sup>です。<sup>に</sup>似た言葉<sup>ことば</sup>には「<sup>ついでに</sup>・<sup>ついでながら</sup>」などがあります。

れい 例) ここは<sup>かようび</sup>火曜日が<sup>やす</sup>休みです。ちなみにこれは<sup>りようてん</sup>理容店のルールなのです。

れい 例) 父は<sup>ちち</sup>銀行員<sup>ぎんこういん</sup>です。ちなみに背は<sup>せ</sup>1メートル85センチ、<sup>たか</sup>高い方<sup>ほう</sup>だと思います。

## 文2 「(あくまで)～にすぎません。」

「<sup>かんぜん</sup>完全に・まったく～だけだ」「～しかない」という意味を<sup>い</sup>表<sup>あらわ</sup>します。「あまり<sup>じゅうよう</sup>重要・大変<sup>たいへん</sup>ではない」という<sup>ひようか</sup>評価<sup>き</sup>の<sup>き</sup>気持ち<sup>も</sup>を<sup>あらわ</sup>表<sup>あらわ</sup>します。

れい 例) この大学に<sup>だいがく</sup>留学生<sup>りゅうがくせい</sup>がいると言っても、<sup>い</sup>学生<sup>がくせい</sup>全体<sup>ぜんたい</sup>の5%にすぎません。

## 文3 「いわば」

「AはいわばBだ」という<sup>かたち</sup>形<sup>かたち</sup>で、「例<sup>たと</sup>えば」、「別<sup>べつ</sup>の言<sup>い</sup>い方<sup>かた</sup>をすれば」という意味を<sup>い</sup>表<sup>あらわ</sup>します。

## 文3 「<sup>う</sup>生<sup>だ</sup>み出<sup>だ</sup>す」

「～<sup>だ</sup>出<sup>だ</sup>す」という<sup>かたち</sup>形<sup>かたち</sup>で、「今<sup>いま</sup>までなかつたものや、見<sup>み</sup>えなかつたものごとを見<sup>み</sup>える<sup>かたち</sup>形<sup>かたち</sup>にする」という意味を<sup>い</sup>表<sup>あらわ</sup>します。

れい 例) 考<sup>かんが</sup>え出<sup>だ</sup>す ・ 聞<sup>き</sup>き出<sup>だ</sup>す ・ 作<sup>つく</sup>り出<sup>だ</sup>す

## 「国内政治」と「国際政治」

	国内政治 (一国政治)	国際政治 (多国間政治)
主要なアクター (行動主体)	国民 (およびそれを主体とする 政党、利益団体、NGO)	国家 (+多国籍企業、国際NGO)
独占的正統性を持つ統治機構	政府	不在 (国際連合≠世界政府)

1. その一つが、第二の相違点として強調すべき「独占的な正統性を持つ統治機構」が存在するか否か、という問題です。
2. 国内政治の場合は、包括的な統治機構としての政府が存在していることが一般的です。中には、政治対立が激化した結果、中央政府の統治能力が衰え、実質的な無政府状態に陥ってしまう国家もありますが、少なくとも最終的な意思決定機関としての正統性を持つ「政府」を構築出来る可能性はあります。
1. One such difference, which is important as the second key difference, is whether or not a “government with an exclusive legitimacy” exists.
2. In case of a national politics, it is normal that a government exists as its comprehensive governing body. Some nations might have experienced fierce political conflicts which weakened the ability of the central government to govern, creating a state of anarchy. But, even then, it is still possible to re-build a legitimate “government” as its final decision-making body.

3. これに対し、国際政治の場合は、基本的に「全世界を統括する統治機構」は存在しません。それに近い存在として「国際連合」は存在しますが、国連はあくまでも有志で結集した国々の自由意志に基づく連合体であり、決して世界全体を統治することを認められるだけの正統性を持つ「世界政府」ではないのです。
  4. この相違点が、国内政治と国際政治のそれぞれの領域における権力の争奪戦に関する構造的な違いとなっており現れます。
  5. 国内政治の場合は「政府」という「絶対的な権力の座」を誰が担うかということを、民主主義国では選挙、非民主主義国では暴力などを通じて、構成員としての国民間で争うことが、政治の中心になります。これに対して国際政治の場合はそのような絶対的な権力機関が存在しないため、「構成員」としての国家間での権力の争奪戦は、基本的に各国の軍力や経済力によって個別に争われる、という違いが生じます。
  6. つまり、政治権力を巡る闘争の構造という点において、両者は根本的に異なる性質をそれぞれ有しているのです。
3. In contrast, in the case of international politics, basically, there is no “governing mechanism that governs the entire world”. One might argue that the United Nations might come close to such a body. But, the UN is a joint and voluntary organization that was united under the free will of the participating nations. And, as such it is not a “world government” with legitimate power to rule all the nations of the world.
  4. This difference is clearly visible when we look at structural difference in power struggles in a national, as opposed to an international, context.
  5. In the case of national politics, the power struggle centers on who wins the seat of absolute power. The member citizens fight over this through an election in the case of a democratic country and through violence in a non-democratic country. On the other hand, in case of international politics, no such absolute power organization exists. So, the power struggle is fought among the member nations through military or economic power.
  6. This shows that these two types of politics have fundamentally different characteristics in terms of the structure, or the fundamental nature, of the struggle over political power.

## キーワード

・正統性    ・無政府状態    ・国際連合（国連）    ・民主主義

## 日本語解説

### 文1「～か否か」

「～か否か」というのは、「～かどうか」という意味を表します。講義の日本語や書き言葉で使う改まった表現です。

## 文2「無」

「無」<sup>む</sup>という漢字は、漢語<sup>かんご</sup>の前<sup>まえ</sup>について、「～ない」という意味<sup>い み</sup>を表<sup>あらわ</sup>します。

例) 無人<sup>むじん ひと</sup>(人がいない) ・ 無免許<sup>むめんきょ めんきょ</sup>(免許がない) ・ 無休<sup>むきゅう やす</sup>(休みがない) ・ 無給<sup>むきゅう きゅうりょう</sup>(給料がない)

👉「講義<sup>こうぎ</sup>に役立つ日本語<sup>やくだ にほんご</sup>」

## 文3「あくまでも」

「あくまでも～だ」「あくまでも～である」という形<sup>かたち</sup>で、「例外<sup>れいがい</sup>はなく、完全<sup>かんぜん</sup>に～だ」という意味<sup>い み</sup>を表<sup>あらわ</sup>します。

例) 私<sup>わたし</sup>はあくまでもあなたの意見<sup>いけん</sup>に反対<sup>はんたい</sup>します。

例) これはあくまでも私<sup>わたし</sup>の意見<sup>いけん</sup>です。一般<sup>いっぱんてき</sup>的な意見<sup>いけん</sup>ではありません。

例) 確かに、<sup>たし</sup>「国際法<sup>こくさいほう</sup>」とよばれる様々<sup>さまざま</sup>な法<sup>ほう</sup>はありますが、あくまでもそれらは多<sup>おほ</sup>くの国々<sup>くにぐに</sup>の間の紳士協定<sup>しんしきょうてい</sup>として存在<sup>そんざい</sup>しているにすぎません。

## 文3「決して～ない」

「決して～ない」という形<sup>かたち</sup>で、「全然<sup>ぜんぜん</sup>～ない」「全<sup>まった</sup>く～ない」という「例外<sup>れいがい</sup>がない」という意味<sup>い み</sup>を表<sup>あらわ</sup>します。

## 文5「非民主主義国」

「非<sup>ひ</sup>」という漢字は、漢語<sup>かんご</sup>の前<sup>まえ</sup>について、「～ではない」という意味<sup>い み</sup>を表<sup>あらわ</sup>します。

例) 非常識<sup>ひじょうしき</sup>(常識<sup>じょうしき</sup>的ではない) ・ 非公開<sup>ひこうかい</sup>(公開<sup>こうかい</sup>されない) ・ 非合理<sup>ひごうり</sup>(合理<sup>ごうりてき</sup>的ではない)

👉「講義<sup>こうぎ</sup>に役立つ日本語<sup>やくだ にほんご</sup>」



## 「国内政治」と「国際政治」

	国内政治 (一国政治)	国際政治 (多国間政治)
主要なアクター (行動主体)	国民 (およびそれを主体とする 政党、利益団体、NGO)	国家 (+多国籍企業、国際NGO)
独占的正統性を 持つ統治機構	政府	不在 (国際連合≠世界政府)
「法の支配」の 有効性	高度なレベルで 実現可能	極めて限定的

- そしてこの違いは、次の第三の相違点としての「法の支配」の実現可能性、つまりは政治を運営する上での土台となる「法による拘束力」の持つ影響力の差という問題と、密接に関わってきます。
- 国内政治の場合、警察機構や裁判制度などの一定の条件が整えば、かなり高度なレベルで「法の支配」の原則に基づく秩序を構築することは可能であり、その原則の下での合法的な政治権力闘争が繰り広げられます。
- And this difference is closely related to the third difference, which is how the rule of law is carried out or the extent to which the binding power of the law, the foundation of political exercise, can exert influence.
- In the case of national politics, once certain conditions such as the police structure and judicial system are established, it is possible to establish order based on the principle of “rule of law” at a very high level. And political battles can be carried out lawfully on such a foundation.

3. 無論、これはあくまで「可能」なだけで、実現していない国も沢山あります。しかし、理論上は全ての国々において、極めて高度なレベルで「法の支配」の原則に基づく政治を実現することは可能なのです。
4. しかし、国際政治の場合は、このような原理は極めて限定的なレベルでしか実現することが出来ません。
5. 上の項目で説明した通り、独占的な正統性を持つ単一の政府が存在しないのと同様に、全世界で共通して適用される法も、それらを全世界の国々や人々に強制させるだけの権力や正統性を持つ警察や裁判所も存在しません。
6. 確かに、「国際法」と呼ばれる様々な法はありますが、あくまでもそれらは多くの国々の間の紳士協定として存在しているにすぎず、一定の抑止力としての効果はあるものの、国内法ほどの体系的な秩序を構築出来るだけの正統性も効力もありません。
7. また、一応は国連の下部機関としての「国際司法裁判所」も存在しますが、その判決に従わない国を平等に罰することが出来る機関が存在しないこともあり、実質的には極めて限定的な範囲でしか「法の支配」は実現出来ない構造になっています。
3. I say that this is ‘possible’; there are, of course, [[consider adding this to improve the flow in English]] many countries in which such lawful order has not been established. But, theoretically, it is possible in all nations to realize politics based on the principle of the rule of law at a very high level.
4. However, in the case of international politics, such a principle can be realized only at a very limited level.
5. As I explained earlier, in international politics, there is no single organizational body with exclusive and legitimate governing power over member nations. Similarly, there are no laws that are applicable to all nations of the world and there is no police or court system with the power or authority to enforce such law on all nations and citizens of the world.
6. There are various codes that fall under “international law”. But they exist only in the form of gentlemen’s agreements among many nations. Although they do have some deterrent effect, unlike national laws, they do not have legitimacy or effectiveness that can build systematic order.
7. There is an International Court of Justice under the United Nations, a subordinate agency of UN, but it does not have an organization that can equally enforce a ruling on (i.e., it cannot punish) those nations who do not obey the ruling. So, the “rule of law” can be realized only in a very limited sense.

8. 故に、国内政治では「法」がより強い拘束力を持つため、唯一の立法機関としての「議会」の内部における多数派をいかに形成するかが重要な鍵を握るのですが、国際政治では普遍的な形で法を構築するための共通のルールが存在しないため、法の支配以上に各国の軍事・経済的な影響力に依存した権力争争や秩序構築が大きな役割を果たしています。
9. このように、国内政治と国際政治とでは、様々な形での相違点がありますが、一方で、両者は互いに影響を与え合う関係でもあります。
10. 最初に説明した通り、国際政治の行動主体となる「国家」の意志は、国内政治の結果として生み出されるものですし、逆に国際政治の結果もまた、各国の国内政治に対して様々な形で影響を与えることになります。
11. また、近年では両者の政治領域の境目は更に不明確になり、両者を架橋する領域も発生しています。つまり、従来は国家だけが独占的に持っていた主権の一部を、特定の超国家機構へと委任する流れが形成されつつあるのです。
12. 特にヨーロッパにおける EU の設立や、その中での通貨統合への動きなどは、まさにその典型例と言えるでしょう
8. Therefore, in national politics, in order for the law to have strong binding power, it is crucially important to form a majority group in “parliament”, the only legislature. However, in international politics, there is no common rule under which universal law can be created. For this reason, in international politics, the rule of law is superseded by military and economic power of the nations as the major influencing factor for power and order.
9. So, in this manner, although we can find various differences between national politics and international politics, these two types of politics do exert influence on each other.
10. As I explained earlier, the will of nations, with the nations as the major actors of international politics, is formed by and through national politics. At the same time, the national politics of member nations is also influenced in many ways by the outcome of international politics.
11. In recent years, the boundary between these two political territories is becoming less defined, and there are many instances where these two territories overlap. That is, more recently there has been a trend for some sovereign rights, which traditionally belonged to a nation, to be delegated to certain supranational organizations.
12. Typical examples are the establishment of the EU among European nations and the movement toward a common currency—or monetary union—within it.[[consider writing it like this, as both terms are widely used]]

13. このような両者の違いを踏まえた上で、以後の本講義では、まずより基礎的な次元の政治である「国内政治」に主に焦点を当てていきます。つまり、国民を基礎的単位として、独占的正統性を持つ政府をいかにして構成するかを、「法の支配」の原則の下で争う「国内政治」について以下で語っていくことになると思います。

13. Based on the understanding of such differences between the two, I would like to focus mainly on “national politics”, which is the basic form of politics. In other words, I would like to discuss national politics, which is based on the basic unit of member citizens, which competes to form a government with exclusive legitimacy under the basic principle of the rule of the law.

## 日本語解説

### 文2「無論」

「無論」という言葉は、「もちろん」「言うまでもなく」という意味を表します。講義の日本語では、前に説明したことを、少し訂正したり、修正したりする場合によく使われます。

### 文2「かなり」 文3「極めて」

「かなり」と「極めて」はどちらも程度を表す副詞です。「かなり」は普通以上のことを表します。「極めて」は「非常に」「最も」と似た意味を表します。

「かなり高度なレベルで「法の支配」と「極めて高度なレベルで「法の支配」」を比べると、「極めて」のほうが高度であることを表します。

### 文5「単一の」

「単」という漢字は一つという意味を表します。反対の意味を持つ漢字は「複」で、これは二つ以上という意味を表します。この2字が対応する言葉に「単数⇔複数」、「単文⇔複文」、「単純⇔複雑」などがあります。

### 文6「存在しているにすぎず」

「すぎず」という形は「すぎなくて」の連用中止の形です。

### 文8「故に」

「故に」ということばは、「そのため」「その結果」と同様の意味を表し、後ろに結果を説明する内容が続きます。講義や論文などの改まった文章で使われます。

### 文9「与え合う」

「～合う」という言葉は動詞に接続して「一緒に～する」「相互に～する」という意味を表します。

例) 知り合う ・ 教え合う ・ 見合う

文 11 「<sup>けいせい</sup>形成されつつあるのです。」

「～つつある」という表<sup>ひょうげん</sup>現で、「～が<sup>すす</sup>進んでいる」「～が<sup>つづ</sup>続いている」という意味を<sup>い み</sup>表<sup>あらわ</sup>します。

例) 権<sup>けん</sup>力<sup>りき</sup>配<sup>はい</sup>分<sup>ぶん</sup>システムは、更<sup>さら</sup>に多<sup>た</sup>様<sup>やう</sup>化<sup>か</sup>しつつあります。

例) この傾<sup>けい</sup>向<sup>こう</sup>はかなり弱<sup>よわ</sup>まりつつあります。

例) 世界<sup>せ かい</sup>には食<sup>しょく</sup>糧<sup>りやう</sup>品<sup>ひん</sup>の不<sup>ふ</sup>足<sup>そく</sup>になやみつつある地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>も少<sup>すく</sup>なくない。

- 政治システム  
＝政治を機能させる制度と慣習  
→国や時代によって様々
- 本講義の目的  
＝他国 & 過去の政治システムとの比較
  - ・他国との比較＝「日本」の相対化
  - ・過去との比較＝「現在」の相対化→より客観的な認識が可能

- |   |  |
|---|--|
| <p>1. さて、ここで国内政治を構成する上での重要な要素として、「政治システム」という概念について確認しておきましょう。</p> <p>2. ここで言うところの「政治システム」とは、各国内の政治を機能させる装置としての「制度」や「慣習」のことです。</p> <p>3. その構造は国によって様々で、またそれらは時代と共に常に変転していきます。たとえば一言で「民主主義」と言っても、国民の代表者をいかにして選び、彼等がどのような形で合意を形成していくか、という点については、国や時代によって様々に異なります</p> | <p>1. Let us make sure here that we correctly understand the concept of a “political system”, an important building block of national politics.</p> <p>2. A “political system” here refers to the institution or custom that serves as the functioning mechanism in the politics of each nation.</p> <p>3. The particular make up of the political system varies from nation to nation and changes constantly over time. For example, even the simple term “democracy” takes on various forms in each nation and at different times in history, in terms of how the representatives of the citizens are selected and how they form consensus among them.</p> |
|---|--|

4. そして、この講義では現在および過去の各国における様々な政治システムについて論じていきたいと思ひます。
5. なぜ、過去や他国の政治システムを学ぶ必要があるかといへば、現在の日本の政治システムも、そのような過去や他国の様々な政治システムを参考にしつつ、様々な変遷を経て構築されてきたからです。
6. そしておそらく今後また様々な形で日本の政治システム改革に関する議論が生じてくることでしょう。
7. そのような、今後生じうる政治システム改革に直面することを想定した上で、より幅広い視野を養うことが、本講義においてこの問題を取り扱う理由です。
8. すなわち、「他国の政治システムとの比較」を通じて「既存の日本の常識」の相対化し、また一方で「過去の政治システムとの比較」を通じて「現在の我々の常識」を相対化することが可能になります。
9. このように「現在の日本の政治システム」を相対化してより客観的にそのメリット/デメリットを認識する視点を養ってもらふことを目指して講義を進めていきたいと思ひます。
4. In this lecture, I would like to discuss the various political systems in various nations both now and in the past.
5. So, why is it necessary to learn about the political system of the past and of other nations? It is necessary because the current Japanese political system has been formed after undergoing various changes while studying the various political systems of the past and other nations.
6. And, perhaps, more arguments would arise in our future, in widely different forms, on how to reform the Japanese political system.
7. We must assume that all of you will face changes in the existing political system in some form in your future. The objective of this lecture is to provide a wider point of view to prepare you for such changes.
8. It is possible to relativize “existing Japanese common sense” by comparing it against the political systems of other nations, and to relativize “our current common sense” by comparing it against “past political systems”.
9. In this way, by relativizing the “current Japanese political system”, I would like to instill in you a view point that will help you recognize its merits and demerits objectively.

## キーワード

- ・政治システム

## 日本語解説

### 文1「さて」

ここで「さて」は、新しい話題、テーマに入ることを示しています。このことばが講義で使われたときには、本題に入るとき、話題が変わるときですから、その後、注意して新しい話題は何かを聞くと

うにしましょう。

### 文3 「一言でAと言ってもB」

広い意味を表す「A」を説明したり、分類したりしたいときに使います。Bの部分には「いろいろあります」、「簡単には説明できません」のように、Aが広い概念だということを説明するようなことばを使います。

### 文5 「つつ」

ここでは「つつ」は「～ながら」と同じ意味を表します。

「そのような過去や他国の様々な政治システムを参考にしつつ(=参考にしながら)、様々な変遷を経て構築されてきたからです。」

### 文5 「なぜAかと言えばBからです」

Aの部分には、理由を聞く質問の形が入り、Bの部分にその答えが入る表現です。原因、理由を説明するときにはよく使われます。

### 文7 「生じうる」

「～うる」という言葉は動詞に接続して「～する可能性がある」という意味を表します。

例) なりうる ・ ありうる



# 権力配分システムの多様性

## ・立法府と行政府の権力配分システム

→大統領制、議院内閣制、半大統領制、etc.

## ・立法府内の権力配分システム

→二院制、一院制、etc.

## ・地域的な権力配分システム

→中央集権制、連邦制、(超国家機構)

- |    |   |    |   |
|----|---|----|---|
| 1. | それでは、まず「 <sup>せいど</sup> 制度」としての「 <sup>せいじ</sup> 政治システム」、具体的には「 <sup>けんりよくはいぐん</sup> 権力配分システム」について <sup>かくにん</sup> 確認していきましょう。   | 1. | First, let us consider the “political system” as a “system”, and more specifically let us consider a “power sharing system.”  |
| 2. | <sup>われわれ</sup> 我々になじみ深い <sup>みんしゆしゆぎしよこく</sup> 民主主義諸国では、 <sup>きほんてき</sup> 基本的に <sup>ぎようせいけん</sup> 行政権、 <sup>りつぽうけん</sup> 立法権、 <sup>しほうけん</sup> 司法権の「 <sup>さんけんぶんりつ</sup> 三権分立」の <sup>げんそく</sup> 原則に基づいて <sup>こっかけんりよく</sup> 国家権力は <sup>こうせい</sup> 構成されています。      | 2. | In democratic nations, with which we are very familiar, national power is basically built on the principle of separation of three powers, namely, executive power, legislative power, and judicial power.                           |
| 3. | そして、このうち <sup>ぎようせいふ</sup> 行政府と <sup>りつぽうふ</sup> 立法府を構成する人々は <sup>げんそく</sup> 原則として <sup>こくみん</sup> 国民に <sup>えら</sup> 選ばれる <sup>たちば</sup> 立場にある訳ですが、この <sup>わけ</sup> 両者の <sup>りようしや</sup> 選出方法は、 <sup>せんしゆつぽうほう</sup> 国によって <sup>おほ</sup> 大きく <sup>こと</sup> 異なります。 | 3. | Of these three, the people making up the executive branch and the legislative branch are elected by the citizens of the nation. However, the particular electoral system of these two branches varies widely from nation to nation. |

4. アメリカを初めとする大統領制の国々においては、「行政府」を担当する大統領と「立法府」を担当する議会は別々に選挙で選出されます。

4. In nations such as the United States of America (US) with its presidential system, the president in charge of the executive branch and parliament in charge of the legislative branch are selected through separate elections.
5. 一方、日本やイギリスなどの議院内閣制の国々では、選挙で選出された「立法府」としての議会が、「行政府」としての首相を選出します。

5. On the other hand, in nations such as Japan and the United Kingdom (UK) with their parliamentary cabinet system, parliament, which is the legislative branch selected through election, selects the prime minister who heads the executive branch.
6. なお、ドイツやイタリアのように、形式的には大統領が存在していても、実質的な権力を持っていない場合は、大統領制とは呼びません。これらの国々の行政府は議会に選ばれた首相が担当しており、議院内閣制に分類されます。

6. Nations such as Germany and Italy, which have nominal presidents who have no actual executive power, are not considered to have a presidential system. The executive branch in these nations is run by the prime minister, who is selected by parliament. For this reason, this type of political system would be classified as one form of a parliamentary system.
7. そして、フランスのように、選挙で国民から直接選ばれた大統領と、議会に選ばれた首相が共同で政治を運営する「半大統領制」と呼ばれる制度も存在します。

7. Also, there is also a system, as in France, where the president directly elected by citizens and a prime minister selected by the parliament run the national politics jointly. This system is called a semi-presidential system.
8. また、アメリカでは地方政府も大統領制と同じ方式で、イギリスでは地方政府も議院内閣制での原則に基づいて選ばれますが、日本のように国政レベルでは議院内閣制でも、地方政治では実質的に大統領制と同じルール、つまり知事や市長と議会を別々に選出する制度を採用している国もあります。

8. Then, in the US, the same presidential system is used to elect local government. And in the UK, the same parliamentary cabinet system is used to select local government. On the other hand, in countries like Japan, while the parliamentary cabinet system is used at national level, local politics use the same rule as presidential politics to select governors and mayors separate from the parliament.
9. このように、立法府と行政府の関係は国ごとに非常に様々であり、中には中央政府と地方政府で異なる方式を採用する国もあります。どの制度にも一長一短が存在し、その違いがそれぞれの国々の政治の在り方と密接
9. In this manner, the relationship between the legislative branch and the executive branch varies widely from country to country. Some countries adopt different systems for the central government and for local government. Each of these variations

にかかわっています。

has merits and demerits, and such differences are related closely with the particular politics in these countries.

10. 一方で、立法府の内部においても、様々な権力配分システムが存在します。 10. On the other hand, various power allocation systems exist in the executive branch.
11. 現在、多くの国々で採用されている「二院制」では、議会内に二つの院が併存していますが、それぞれの院がどのように選ばれ、各院がどのような権力を持つかは、国ごとに様々です。 11. Under the bicameral system adopted by many countries, two chambers coexist in parliament. How each of these chambers is elected and what power each chamber has differ from country to country.
12. たとえばイギリスの場合、上院に相当する貴族院は民主的な選挙で選ばれる議会ではないため、今では殆ど権力を持ちません。 12. For example, in case of the UK, the House of Lords, the upper chamber, is not a parliament selected by democratic election. For this reason, the House of Lords does not have too much power any more.
13. 一方、アメリカのように条約締結は上院、予算承認は下院、という形で、明確に役割分担されている国もあります。 13. But then, in countries such as the US, different roles are clearly allocated to these chambers; that is, treaty is concluded by the upper chamber, while budget is approved by the lower chamber.
14. また、北欧諸国などのように、そもそも一つの院しか存在しない「一院制」の国もあります。そして、日本を含めた多くの二院制諸国の中でも、本当に二つの院が必要なのか、という議論は頻繁に沸き起こっています。 14. Some Nordic countries adopt a unicameral system which has only one chamber. And the very existence of two chambers is often questioned by many of the bicameral system countries.
15. そして、もう一つ特筆すべき問題として、地域的な意味での権力配分システムの違いも、各国の政治を相違を生み出しています。 15. Another notable problem is that a difference in the power distribution system among localities also causes a difference in national politics.
16. 日本のように「中央集権制」と呼ばれる国々では、中央政府が極めて強い権限を有しているのに対し、アメリカのような「連邦制」の国では、中央政府と別に、地方政府としての「州」が強固な自治権を持っています。 16. In countries like Japan with a so-called “centralized system”, the central government has very strong power. But, in countries like the US with a federal system, local governments, that is, “states”, have strong autonomy which is separate from the central government.

17. そのために、日本では地方自治体は条例という形で、中央政府が作った法に違反しない、非常に限定された範囲での立法権しか認められていませんが、アメリカの場合は、憲法も民法も刑法も州ごとに作られています
18. また、近年ではこれらに加えて、先ほど説明した EU のような「超国家機構」との間での権力分有の問題もあり、地域的な次元での権力配分システムは、更に多様化しつつあります。
19. このような権力配分システムの相違は、まさにそれぞれの国々の政治システムの根本的な違いを規定しており、まずはこれらのそれぞれの特性について学んでいくことが、各国の政治システムを理解していく上での第一歩であると言えるでしょう。
17. For this reason, in Japan, local government has limited legislative power since it cannot go against the laws established by the central government. However, in the case of the US, both constitution and civil law can be created by the individual [[added to improve flow. OK?]] states.
18. Additionally, in recent years, there has been the problem of power division between the supranational organizations like the EU which I mentioned before. In a local context, the power distribution system is diversifying further.
19. Differences in the power distribution system gives rise to fundamental differences in the political systems in each country. The first step to understanding the political systems of each nation is to learn about such characteristics.

## キーワード

- ・ 権力配分システム    ・ 三権分立    ・ 行政権    ・ 立法権    ・ 司法権    ・ 大統領制    ・ 議院内閣制
- ・ 半大統領制    ・ 知事    ・ 市長    ・ 二院制    ・ 上院    ・ 下院    ・ 一院制    ・ 中央集権制    ・ 連邦制
- ・ 自治権

## 関連用語

- ・ 全体主義体制（ぜんたいしゅぎたいせい）：totalitarian regime
- ・ 権威主義体制（けんいしゅぎたいせい）：authoritarian regime
- ・ 普通選挙権（ふつうせんきょけん）：universal suffrage
- ・ 小選挙区一回投票制（しょうせんきょくせい）：first past the post
- ・ 中選挙区制（ちゅうせんきょくせい）：single non transferable vote (SNTV)
- ・ 単記移譲制（たんきいじょうせい）：single transferable vote
- ・ 比例代表制（ひれいだいひょうせい）：proportional representation
- ・ 政党システム（せいとうしすてむ）：party system

## 日本語解説

### 文1「それでは、まず～について～ていきましょう」

「まず」「次に」「第一に」ということばと「～ていきましょう」という言葉は次に説明する話題を紹介する表現です。「～ていきましょう」の所には「確認していきましょう」「見ていきましょう」「説明していきましょう」などの表現が使われます。

### 文2「～深い」

「～深い」という表現は、「とても・非常に～がある」という意味を表します。

例) 罪深い(非常に罪が重い) ・ 奥深い(広がりがある) ・ 疑い深い(とても疑う)

### 文14「そもそも」

「そもそも」という言葉は「最初から」「初めから」という意味を表します。

例) そもそもここには、何もなかった。

### 文17「作られています」

同じ現象を受身と受身でない文で表現することができますが、視点が異なります。動詞が、「書く」「作る」「建てる」「建設する」「作曲する」のような創造的な動詞、あるいは「発見する」のような見つける動作を表す動詞のときは「に」の代わりに「によって」を使います。

- ・動作の与え手が不特定多数、あるいは言わなくても明らかなきときは省略してもかまいません。
- ・地理や歴史の説明をするときなどには無生物の主語で受身が使われることが多いです。
- ・自動詞だけで対になる他動詞がないもの、他動詞だけで対になる自動詞がないものもある。変化を引き起こす人や原因に焦点を当てようとする場合、対になる他動詞がない場合は、代わりに使役を使うことができます。
- ・その変化の原因ではなく、結果の方に焦点を当てようとする場合、対になる自動詞がない場合は、代わりに受け身を使うことができます。

受け身	自動詞	他動詞	使役
	まど ひらく 窓が開く	じん まどをあける 人が窓を開ける	
	あめ ふる 雨が降る	×	ひと あめをふらせる 人が雨を降らせる
ほん おかれる 本が置かれる	×	じん ほん おく 人が本を置く	

☞「講義に役立つ日本語」